

島根県で確認された外国産のスラウエシヒラタクワガタ (コウチュウ目：クワガタムシ科)

皆木 宏明*

The record of *Dorcus titanus titanus* Peters of Shimane Pref (Coleoptera : Lucanidae)

Kohmei Minagi

島根県内で外国産のスラウエシヒラタクワガタ(写真)が採集されたので報告する。採集者は地元の中学生土山一心君で、クワガタムシの採集に出かけた際に大田市内の雑木林で発見した。採集後、大型でアゴの形も違うことから外国の種類ではないか思い、三瓶自然館に持ち込まれ本種であると確認した。

採集場所は島根県大田市朝山町にある市街地から離れた雑木林で、周囲は人家や田畑の点在する地域である。正確な採集日ははっきりと記憶していないとのことだが、7月下旬から8月1日にかけて連日同じ場所を採集に訪れていた際に見つけたとのこと。樹液の出ている木の洞の隙間に隠れていた本種を発見し、採集した。同発見場所では在来種のヒラタクワガタを始め、ミヤマクワガタやカブトムシなどを土山君は毎年採集しており、本個体が在来種と接触していた可能性も懸念される。

島根県内では2007年6月26日に出雲市小山町の駐車場で東南アジアに生息する外国産カブトムシ、コー

カサオオカブト1♂が確認された記録1例がある(島根日日新聞 平成19年6月28日付掲載)が、外国産クワガタムシについてはこれまで県内での記録は知られていない。

外来生物法では、クワガタムシ科は全種が要注意外来生物リストに記載されており、特に在来種と近縁なグループでは交雑による遺伝子攪乱によって、日本の生態系への影響が懸念されている。

新聞ではテイオウヒラタクワガタと報道されたが、同亜種のスラウエシヒラタクワガタと指摘をいただいたのでここに訂正する。インドネシアのスラウエシ島に分布するスラウエシヒラタクワガタは日本のヒラタクワガタとは亜種の関係にあり、大型種のため国内ではペットとして人気のある種類で流通量も多い種類とされる。なお、本種は標本化し三瓶自然館で収蔵している。

採集種	スラウエシヒラタクワガタ <i>Dorcus titanus titanus</i>
確認日	2008年7月下旬～8月1日の間
体長	80mm 1♂
採集場所	島根県大田市朝山町の雑木林
採集者	土山一心(中学2年生)

謝 辞

本種をご恵与いただいた、土山一心君にこの場をかりて厚く御礼を申し上げます。



写真 大田市内で採集されたスラウエシヒラタクワガタ

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan